

公益財団法人不老会会員の皆様へ

当講座では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	同一個体における伏在静脈の力学的および構造的特性の比較
研究機関名	愛知医科大学医学部
研究機関の長	医学部長 笠井 謙次
担当科等	血管外科
研究責任者	助教 有馬 隆紘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	伏在静脈は冠動脈バイパス、下肢バイパス、パッチ形成において不可欠なグラフトであるが、閉塞や瘤化が問題となります。本研究において伏在静脈の特性を明らかにすることで、バイパス手術時の伏在静脈の選択部位を検討する情報となれば、これらの問題解決の一端に貢献できることが予想されます。ご献体から採取した大伏在静脈および小伏在静脈の伸展性と構造に関して力学的・組織学的に評価し、正常な伏在静脈の部位別の特性を比較します。
対象となる患者さん	倫理審査承認日から 2027 年 3 月 31 日までに医学教育に使用される御献体
研究の方法	取得したサンプルの厚さを電子ノギスによって計測します。張力、弾力を張力計および硬度計を用いて測定します。また、採取したサンプルから組織標本を作成し、顕微鏡下および解析ソフトで観察することで筋膜を構成する細胞や組織の種類や比率を明らかにします。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：御献体 情報：年齢・性別・献体登録時の情報
外部への試料・情報の提供	【なし】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	本研究は科学研究費補助金で行う研究であり、利益相反の状態にはなりません。

問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 血管外科 担当者：助教 有馬 隆紘 電話 0561-62-3311 (内線 22140)
--------	--